

JBS ANNUAL REPORT 2024

A Record of The Japan Bible Society



2024年度

日本聖書協会年報

Vol.125 ● 2025年4月発行



ビブロスに育つパピルス

熱した砂地は池となり
干上がった土地は水の湧く所となる。
ジャッカルが伏していた所は
葦やパピルスが茂る所となる。

イザヤ書35章7節





ここに わたくしどもの

2024年度の歩みを感謝とともに ご報告させていただきます。



日本聖書協会理事長

石田 学

Board Chairperson
Ishida Manabu

150年記念の年を

1875年、日本で聖書普及事業がスコットランド聖書協会によって始められました。この時から数えて日本聖書協会は150年という記念の年を迎えています。日本でキリスト教禁教令の高札が撤廃されたのは1873年でした。そのわずか2年後には聖書普及事業が開始されていたのです。東の果てと思われた日本で聖書普及の働きを始めた人々の、揺るぎない情熱と信仰的信念を、わたしたちもしっかりと受け継いでゆきたいと思います。

日本聖書協会はこの150年の間に、おもな日本語聖書を4回刊行してきました。『聖書協会共同訳』はその最新版です。どの訳版も、教会にも日本文化にも大きな貢献をしてきました。しかし、キリスト教の歴史から見れば、150年はささやかなものにすぎません。わたしたちの歩みはキリストが再び来られる時まで続いてゆきます。150年という記念の年は、日本聖書協会が未来に向けて新たな歩みを踏み出す一つの節目です。この一年の皆さまのご支援に感謝すると共に、引き続き皆さまのご支援とお祈りを、よろしくお願い致します。



日本聖書協会総主事

具志堅 聖

General Secretary
Gushiken Kiyoshi

コロナ禍からの回復と150年記念への道備え

2024年はコロナ禍からの脱去が進み、当協会全体の経営と活動が正常化し回復していく一年となりました。銀座聖書館ビルに新しいテナントが入り、多くの来店客が押し寄せ、活気を与えてくれました。また、『聖書協会共同訳』の普及のためのセミナーをさまざまな地域や教会で開催しました。新しい和英対照聖書やレインボウセットなども揃い、ラインナップが充実してきました。また、さらなる商品開発の取り組みも始まっています。今後ご期待ください。

今年、日本聖書協会は聖書普及事業150年記念の年を迎えます。あらためて聖書が日本語に翻訳され、出版・頒布されることのために、聖書協会が設置されたことの意義をかみしめています。また、今日もその聖書を現代の人々に届け、人々が神の福音に触れ、イエス・キリストに出会う。そして人生が変わる。そのミッションのために聖書協会があることを職員一同思い起こす一年にしたいと思います。

どうぞ皆様のご協力とお祈りをお願い申し上げます。



2024年度 日本聖書協会年報
JBS ANNUAL REPORT 2024
Vol.125

Contents

- 02 聖書普及事業150年に向けて
- 03 教皇フランシスコに『聖書 聖書協会共同訳』講壇用特装版を献上
- 04 聖書協会世界連盟 フェローシップ・イベント
- 05 バーチャル聖書館
- 06 能登半島地震教会支援
- 07 海外聖書支援／手話訳聖書製作支援
- 08 キリスト教視聴覚センター (AVACO)
- 09 クリスマンセンター神戸バイブル・ハウス活動報告
- 10 TOPICS2024
- 13 2024年度事業報告
総務部／編集部／出版部／頒布部／広報部／募金部／視聴覚部
- 19 聖書各種データ
- 20 日本聖書協会 役員・事務局
- 付録 献金者芳名



表紙写真：ビブロスに育つパピルス

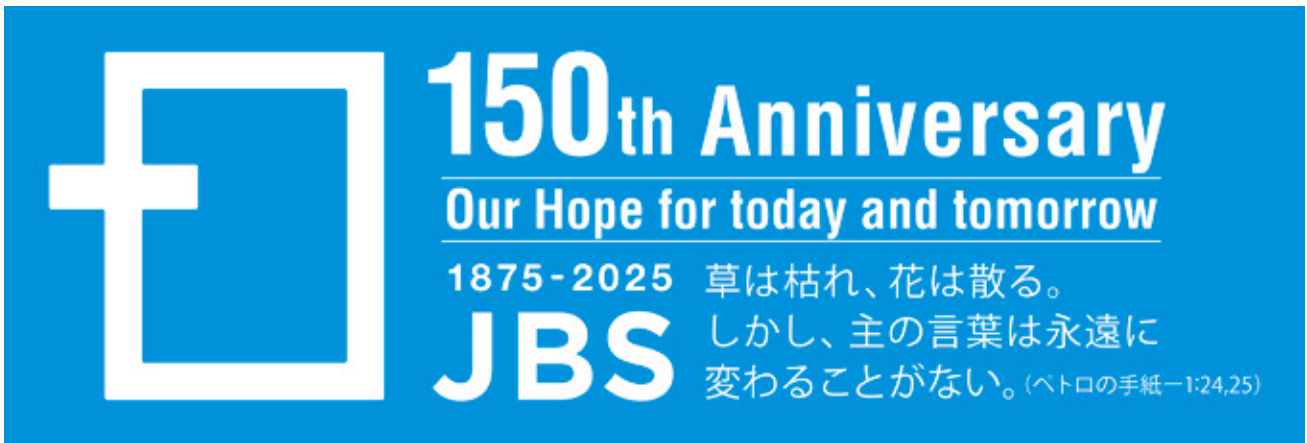
ビブロスはレバノンの地中海沿岸都市で、古代にはフェニキア人の港町として交易で栄えた。エジプトからもたらされたパピルスが荷揚げされ、加工されたことから、この町の名がギリシア語の「本 (ビブリオン)」、英話の「聖書 (バイブル)」の語源となった。

写真：Maurice Harvey 提供：聖書協会世界連盟



2025年に日本聖書協会が事業開始150年を迎えるにあたり、2024年から「JBS150年ロゴマーク」を使用することとしました。四角いフレームは「永遠に変わらない御言葉」を表し、フレームには「十字架」が組み合わされています。記念事業の詳細はホームページなどで順次公開してまいります。

一般財団法人日本聖書協会は、日本の国内の諸教会と諸団体のご支援とご協力を得ながら、聖書の翻訳、出版、頒布により、御言葉をすべての人にお届けすることを目的としています。また、聖書協会世界連盟の一員として、各国の聖書協会と同一組織、同一理念、同一使命をもって相互に協力しながら、全世界の聖書普及に努めています。



聖書普及事業150年に向けて

2025年、日本聖書協会は聖書普及事業150年記念の年を迎えました。文明開化の時期、いわゆる西欧文化の流入による近代化の一つがキリスト教禁止の撤廃でした。その禁令の負の歴史を乗り越えていく中で、日本語の聖書は編まれていきました。海外からの多くの支援、来日した多くの宣教師(団)の献身的な働き、また、その働きの実りとして与えられた最初の日本人キリスト者の教職・信徒たちの存在。そのような方々の力が結集される中で日本語の聖書は生まれたのです。

その始まりから今日まで、同じミッションを志す者たちによって、聖書の翻訳・出版・頒布が150年間続けられてきました。その聖書が日本の教会形成と伝道のために用いられ、さらにキリスト教書の出版物や学校の教材に用いられています。一般書店の人文書コーナーにも置かれ、多くの人々の

手に届いていく。まさに聖書が、誰にとっても必要不可欠なものとなるように、私たちは聖書の大切さを伝え、その普及に尽力していきたいと思っています。今日の日本と世界の状況、教会や出版業界の実情は極めて厳しいものです。だからこそ、神の言葉である聖書を人々に届ける働きをこれからも丁寧に続けていく決意を新たにしたいと思います。



日本聖書協会 (JBS) 紹介動画
<https://www.youtube.com/watch?v=RYB8Vrm2MkQ&t=47s>

記念事業

聖書普及事業150年記念式典・レセプション

東京カテドラル聖マリア大聖堂・ホテル椿山荘東京

150年記念講演

神戸女学院、立教大学、上智大学

150年記念出版

四訳対照「詩篇」、日本聖書協会150年史

※詳細はウェブサイト特設ページにて公開してまいります。
https://www.bible.or.jp/150th_anniversary.html



東京カテドラル聖マリア大聖堂



ホテル椿山荘東京



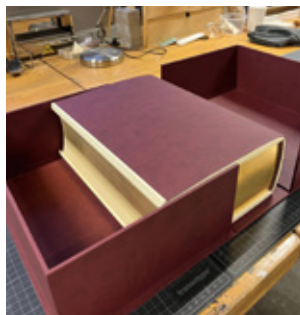
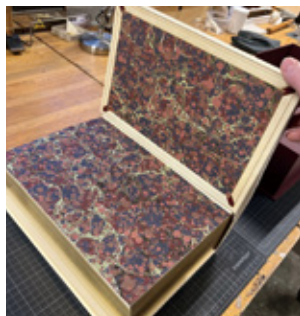
教皇フランシスコに聖書を手渡す川口 薫神父（菊地枢機卿代理：中央）と具志堅 聖総主事（右）

教皇フランシスコに『聖書 聖書協会共同訳』講壇用特装版を献呈

2024年4月、日本聖書協会はカトリック中央協議会と共同で、バチカンのサン・ピエトロ広場にて『聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き』講壇用特装版を、教皇フランシスコに献呈しました。この度の献呈は4月前半に日本カトリック司教団（司教協議会 会長 菊地 功枢機卿、日本聖書協会副理事長）がローマ教皇庁を7年ぶりに公式訪

問（アドリミナ）した際に、4月10日朝の一般謁見において行われました。

献呈された聖書は、オランダのフォプマ・ヴィーエル社がこの日のために制作したもので、教皇をイメージして選ばれた白革表紙に22カラットの金箔を施し、背には5本のバンド（盛り上げ）が施され、見返しにオリジナル制作のマーブル紙を用い、細部に至るまで伝統的な手製本によってつくられた特別な一冊です。完成した聖書は、同社代表で職人のヴィッツェ・フォプマ氏自身により、傷がつかないようオランダからバチカンまで慎重に運ばれました。



制作工程動画
<https://youtu.be/XTKxHaeAQCw>





正教会の礼拝

聖書協会世界連盟 フェロウシップ・イベント

2024年10月7日から11日にかけて、カナダのトロントで「UBS フェロウシップ・イベント」が開催されました。世界中から約300名の聖書協会代表者とスタッフ及び関連団体が参加し、2023年の世界大会で提示された重要課題である「聖書翻訳」「デジタル変革」「聖書活用」「レジリエンス」などをテーマにした講演やワークショップ、小グループでの話し合いが行われました。

会議を主催したカナダ聖書協会が毎朝のデボーションを企画し、カトリック、聖公会、正教会、ペンテコステ派など、さまざまなキリスト教の伝統を体験できる礼拝が行われ、信仰の多様性を尊重するプログラムとなりました。

会議の合間には、互いのプロジェクトの進捗を分かち合い、協力体制の強化が図られました。代表者らと直接交渉を行い、新しい翻訳やデジタル聖書の可能性を探るなど、国際的な連携を深める時となりました。ルワンダやアゼルバイジャン、湾岸地域など過去に支援した聖書協会に加え、新たな候補先とも将来の協力の可能性について話し合い、祈り合うことができました。

代表者以外のスタッフも参加できる対面の会議としては、コロナ禍以降初めてで、離れていた同僚・旧友に会えた喜びを皆が味わいました。トロントでの会議は、今後の聖書普及と国際的な協力を大きく前進させる一助となりました。



聖書協会の関係をペンと鉛で説明するダーク・ギバースUBS総主事



バーチャル聖書館

2024年9月2日、メタバースを活用した「バーチャル聖書館」を開設しました。特にデジタル世代の若年層を対象とし、ゲーム感覚で楽しみながら聖書や同協会の働きを知ってもらうことを目的としています。来館者はパソコンやスマートフォン、タブレットを使い、アバターを操作して館内を巡り、チャット機能を活用して交流もできます。展示パネルや動画を通じて聖書協会の取り組みを学べ、ワンクリックで詳細ページや聖書・グッズ購入、募金ページへ飛ぶことも可能にしました。

「バーチャル聖書館」は、ウェブサイトやSNS、YouTubeなどに続く新たなデジタル展開の一環です。開館のきっかけは、ある大会でのブース出展が叶わなかったことにあります。リアルがダメならと発想の転換をし、オンライン空間

なら場所の制約を受けず、多くの人々に情報を届けられると考え、バーチャルブースの構築に至りました。SNSと異なり、一度に多くの情報を可視化できる点もメタバースの利点であり、若者に馴染みのあるオンラインゲーム的な要素を取り入れることで、楽しみながら学べる環境を整えました。館内の展示は、若年層のタイムパフォーマンスを意識し、文字数を抑えたパネルや要点をまとめた短い動画を配置するなど工夫しています。



世界のクリスマスカード展

仮想空間デザインは「ギャラリー」「ガーデン」「クラスルーム」「オペラホール」など多様に用意されており、企画に応じて変更が可能です。今後も多くの方に聖書のみ言葉に触れる場として、メタバースを楽しみながら利用してもらえれば嬉しいです。また、教会やキリスト教主義学校、団体などのコラボ企画も含め、さらなる活用を検討しています。



空間デザインのひとつ「パーク」

能登半島地震教会支援

2024年元日に発生した能登半島地震により被災した教会を支援するための献金を、ホームページおよびソアNo.52誌面にて募りました。また、シンガポール聖書協会から日本国内の教会の災害支援のために1万ドルの献金が寄せられ「国内災害献金」として入金しました。それらを受け、

地震発生直後から能登半島の教会の支援を続ける

- ・カトリック名古屋教区
 - ・日本基督教団中部教区
 - ・能登地震キリスト災害支援会（以下「能登ヘルプ」と略）
- の3団体に各30万円ずつを送金することを決定しました。

9月に入り、特に著しく被災した日本基督教団輪島教会訪問を第一目的に、能登半島（西側）を訪問しました。

訪問期間：2024年9月10日～12日

訪問者：中村主事

訪問先：金沢独立キリスト教会、聖書教会連盟内灘聖書教会、日本基督教団輪島教会、日本基督教団羽咋教会、聖書教会連盟羽咋聖書教会、日本基督教団金沢教会、北陸学院大学



輪島港の隆起した海底を掘る作業はさらに2か月続きました

能登ヘルプ代表で金沢独立キリスト教会の岡田仰牧師に支援金の目録をお渡しした後、能登ヘルプのボランティア活動拠点である内灘聖書教会を訪問。翌日、全面が再開通した里山街道を輪島教会まで車を走らせ、3団体への支援金とは別に30万円を教会および新藤豪牧師への御見舞金としてお届けし、新藤牧師に教会周辺を徒歩でご案内いただきました。



輪島市内を新藤牧師と視察

厳しい日差しの中、原型をとどめず崩れ落ちた建物と、一見形は残るも土台が壊れて住めない家が並び、稀に作業をする人を見かける以外は、朝市通りも港も沈黙していました。

春先にメールなどで現地の様子を教えてくださった、内灘聖書教会の酒井信也牧師や日本基督教団のボランティア拠点の羽咋教会の内城恵牧師・愛長老ご夫妻ともお会いしました。内灘聖書教会内に店を構えるCLCこひつじ書店の藤尾光彦店長の先導で金沢教会と北陸学院大学にも伺うことができ感謝でした。



早くからボランティアを派遣してきた北陸学院大学掲示板の報告と募集



金沢独立キリスト教会にて能登ヘルプ代表の岡田仰牧師に支援金の目録をお渡し



内灘聖書教会に集まってきたボランティアの方々



輪島教会、被災した会堂の手前が5月に完成した仮会堂



輪島教会の新藤豪牧師に御見舞金をお渡し



日本基督教団のボランティア拠点の羽咋教会に寄せられた励ましの文書

能登半島地震被災教会支援献金はこちら

(JBS ホームページ内)

https://www.bible.or.jp/collection/domestic_disaster.html



海外聖書支援

2024年度は、総額15,510,972円の支援を行いました。

1. UBS協力金として7,026,770円

聖書協会世界連盟（UBS）の存続の維持と、世界中で聖書普及をサポートする「グローバルミッション活動」を支えるための協力金です。

2. 各国聖書協会のプロジェクトを直接支援するために計7,000,000円

7つの地域の聖書協会の聖書普及プロジェクトを直接各100万円支援しました。



アルメニアとドイツの聖書協会が協力する聖書の学びを通して教会に導かれた、アルツァフからの強制避難民の子供たちの洗礼式

3. 特別・緊急支援として1,484,202円

2024年度はウクライナのための献金を全額、ウクライナ聖書協会と避難民を受け入れる周辺国の聖書協会を支援するようUBSに送りました。

次年度となる2024年11月9日、ウクライナ領土に対する全面戦争が始まって1,000日となった日に、前線の兵士らに聖書と物資を届けているウクライナ聖書協会のレイキネツ副総主事が、UBSコミュニティに公開した動画メッセージの一部をお伝えします。

「私たちの最も大きなニーズのひとつが霊的なニーズです。

人々は励ましを、希望を、手で触ることのできない何かを求めています。神の言葉を伝えるために私たちはいつも聖書を持っています。私たちは聖書を読み、祈り、神に奇跡を求めます。戦争がなくなり、平和が訪れるように。私たちと一緒に祈ってください。この恐ろしい戦争の大きな重荷をすべて取り除くのを助けてください。そして、戦争の真只中であっても、周りの人々に神の愛の希望の言葉を届けるのを助けてください。私たちはあなたの熱心な祈りを必要としています。」

ウクライナBSのレイキネツ副総主事

2024年度 ISP 支援先と目的

欧州	クロアチア	ボスニア・ヘルツェゴビナ諸教会協力による翻訳と宣教
	セルビア	全教派の女性信徒に癒しと励ましを与えるプログラム
	アルバニア	日本も支援し完成したBiblical Learning Centerの各種運用
アジア	アルメニア	軍事的に虐げられるアルツァフのアルメニア人の支援
	ラオス	2022年改訂版モン語聖書を活用した識字プログラム
中東	レバノン	BSのエネルギーコストの節約-独立した発電設備の導入
太平洋	南太平洋諸国	経済的理由で聖書を所有できない16の島嶼国の人々へ

手話訳聖書製作支援

2024年度は
291口、2,572,526円の募金全額をもって
「日本ろう福音協会」を助成いたしました。

生まれつき、あるいは幼児期から耳が不自由で、日本手話を母語とされている方々が、ご自分の言葉で聖書を理解できるよう、日本聖書協会は2003年より「日本ろう福音協会」が進める「JSL Bible（日本手話訳聖書）」の製作を支援しています。皆様からのご献金は本年度も手話への翻訳と製作を担う同協会に全額を送金し、手話訳聖書の製作に用いられました。

2024年度の新刊

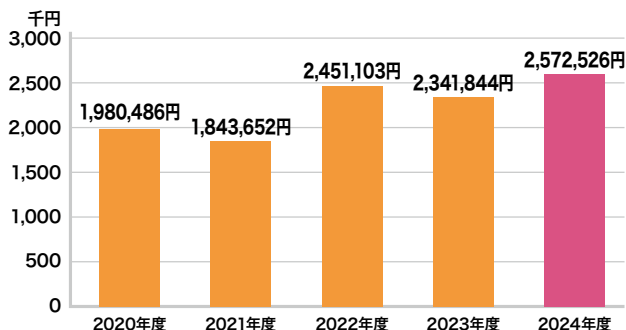
2024年3月「コリントの信徒への手紙一」1-7章
(JSL BibleアプリとYouTubeにて公開)

「ローマの信徒への手紙」9-16章、「ヘブライ人への手紙」、「ヨシュア記」13-24章の翻訳作業が進められています。手話訳聖書は現在、旧約10書、新約24書（ロマと1コリ

は前半のみ)が公開されています。

なお、手話訳聖書のDVDの製作は終了しました。無料の専用アプリ、またはYouTube（「日本ろう福音協会」のJSL Bibleのウェブサイトからリンクがあります）をご活用ください。いずれも無料でご利用になれます（通信料別）。

■募金額の推移グラフ



トピックス



「一般社団法人 日本ろう福音協会」では一昨年の創立30周年を機にブランディングが見直され、日本手話への翻訳プロジェクトと専用アプリの名称が「JSL Bible」に統一されました。

キリスト教視聴覚センター (AVACO)

キリスト教視聴覚センターは、創設当初からの目標の一つである「キリスト教視聴覚教育講習会」を75回目にいたる現在も続けております。

第75回キリスト教視聴覚教育講習会in東京

キリスト教幼児教育者が集う講習会を、会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催しました。

開催日 / 2024年8月1日 (木)

主 題 / 隣人を自分のように愛しなさい

講 座 / 「わらべうた」からはじめる音楽 ー豊かな心と身体を育むためにー 講師 佐久間 恵氏
「パペットセラピーで、笑顔になろう」講師 東 義也氏



礼拝



講師 佐久間恵氏



講師 東 義也氏

SNS配信

2024年度の聖句カードを
毎週日曜9時にX(旧Twitter)に投稿



2024年9月22日の聖句カード



2024年10月6日の聖句カード

一方で近年は、社会状況およびデジタル化促進に合わせた変化も取り入れ、さまざまな視聴覚を用いた情報を発信しています。

動画配信

前年に開催した「キリスト教視聴覚教育講習会」の様子を、5分のダイジェスト版に編集し公開。



「第74回キリスト教視聴覚教育講習会」ダイジェスト動画

制作教材であるシールブックを参考をかねて紹介。



せいしよのおはなしシールブック「そらのとりののはな」／動画紹介



せいしよのおはなしシールブック「かみさまのめくみいただきます」／動画紹介

クリスマスカードを一挙に見ることのできる動画を作成し、YouTubeで公開。



クリスマスカードのラインナップ動画

その他合計9つの動画を制作公開しました。

クリスマンセンター神戸バイブル・ハウス活動報告

クリスマンセンター神戸バイブル・ハウスは西日本地域における聖書普及の拠点として設立された超教派の団体

です。日本聖書協会は同ハウスにおける聖書セミナーや聖書展示会などを共催、後援し、支援を行っています。

■日本聖書協会後援の「聖書セミナー」

	講師	主題	開催日
第106回 聖書セミナー	鎌野 直人 氏 (関西聖書神学校校長)	イザヤ書を一書として読む	2024年1月18日～2月29日 (全4回)
第107回 聖書セミナー	嶺重 淑 氏 (関西学院大学教授)	ルカ福音書のメッセージ	2024年4月1日～4月25日 (全4回)
第108回 聖書セミナー	大宮 有博 氏 (関西学院大学宗教主事)	エコロジカル聖書解釈への手引き	2024年6月6日～6月29日 (全4回)
第109回 聖書セミナー	杉山 世民 氏 (大阪聖書学院嘱託教師)	パウロのヨーロッパ (ギリシア) 伝道 使徒行伝16章～19章	2024年10月3日～10月24日 (全4回)



鎌野 直人 氏 (関西聖書神学校校長)



嶺重 淑 氏 (関西学院大学教授)



大宮 有博 氏 (関西学院大学宗教主事)



杉山 世民 氏 (大阪聖書学院嘱託教師)

神戸バイブル・ハウスの近況

長かったコロナ禍が5類移行で、大きな制約なく活動できるようになったとはいえ、コロナ禍前の活発さには十分戻り切っていないのが実情です。徐々に会館利用率も回復してはいますが、いったん冷えた熱を元に戻すのは、大きな力があるようです。

そうした中で、チャペル内で朗読劇や落語を語ってもらい、一寸違った観点から信仰を見直してもらいました。キリスト教の世界セミナーでは「キリスト教の世界の魅力」を年間主題として、世界の人々が直面している諸問題を念頭に置きつつ人を根底から救い、生きる希望を与えるキリスト教の魅力を各教派教団の方々に語っていただきました。また、日本聖書協会後援の聖書セミナーでは、途中予せぬ台風で来季へ順延したセミナーがあったものの、2月、4月、6月、10月に実施され、延べ400名の方が受講されました。2025年春先には、若者に聖書に親しんで貰うための第3回目ユース・バイブルフェスタや、新たにバイブルハウスウィークを創設して「ご復活と絵画」の講演会を行うほか、コロナ禍で中断していたテレマン協会によるコンサートも実施して、皆が集える会館を目指して行きます。今後共、皆様方の温かいお祈りとご支援をお願いいたします。

(事務局長 角田 正治)



落語鑑賞会 ● 桂 春蝶「ニライカナイで逢いましょう」～ひめゆり学徒隊秘抄録～



キリスト教の世界セミナー ● イボリト神父「モザンビークの発展と福祉におけるキリスト教徒の役割」

トピックス2024

TOPICS 2024

このマークがついたトピックスは公式YouTubeチャンネルで関連動画を視聴できます。



2024年の活動をトピックスと画像でご紹介します。

※職員の所属部署は撮影当時。



第2回聖書エッセイコンテスト 授賞式&特別対談

1月27日



「だからバイブルが好き」をテーマに、応募総数58作品から栄えある大賞はすずさんの作品『神様の計画』でした。授賞式の後、第2部として林あまりさん、清涼院流水さん、松谷信司さんの特別対談「聖書の魅力について考える」が開催されました。



北東アジア聖書協会職員交流

5月13-16日

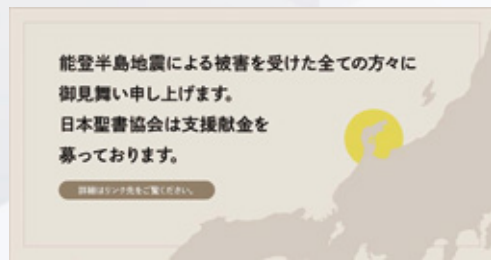
韓国と台湾の聖書協会スタッフが日本を訪問。3つの聖書協会が隔年で互いを訪問する慣例でしたが、コロナ禍の中断を経て再開されました。日本からは総主事ほか5名の職員が参加し、参加者総数は18名でした。



能登半島地震被災教会支援献金

2月1日

1月1日に発生した能登半島地震による被災教会の、みことばを伝える働きを支えるための募金を開始しました。



ローマ教皇に『聖書 聖書協会共同訳』 特装聖書を献呈

4月10日



具志堅総主事とカトリック東京大司教区司祭・川口薫神父がバチカンを訪問し、4月10日の一般謁見で教皇フランシスコに「聖書 聖書協会共同訳」の特装講壇用聖書を手渡しで献呈しました。
※P3に詳細を掲載



日本聖書協会の紹介の様子

左端:在日ブラジルアセンブリー教会のハロルド・ヤマモト師、マイクを持った方:ブラジル聖書協会のエゼキアス・ソアレス理事長、右隣:同協会のエルニ・シーベルト総主事。



ブラジル聖書協会理事長、総主事来日

5月29-6月2日

愛知県岡崎市で開催された「Conferencia de Ciencias Biblicas」講演のために来日。在日ブラジル教会主催の聖会で延べ400名の参加者に聖書協会の働きをアピールしました。



聖書協会共同訳セミナー 日本基督教団草葉町教会

6月23日



熊本市の日本基督教団草葉町教会を会場に、聖書協会共同訳の翻訳事業に関わった石川立氏の講演が行われました。



7月

シンガポール聖書協会 事業開始201周年記念式典

7月5日

シンガポールでの聖書事業開始201周年を記念する式典がシンガポールで開催され、具志堅総主事と広報部・ペランド主事補が出席しました。



7月

UBS・アジア太平洋カトリックアフィニティミーティング

7月16-18日

UBS主催、カトリック向けの活動を協力して行うためのアフィニティグループミーティングがマレーシアのパナン島で行われ、日本からは広報部・高橋主任が参加しました。UBSスタッフ、各国聖書協会スタッフに加え、マレーシアのカトリック司教、アジアカトリック司教協議会の担当司教、各国カトリック教会の聖書事業担当者など約30名が参加しました。



9月

バーチャル聖書館 オープン

9月2日

メタバース空間で聖書協会の働きを知っていただく「バーチャル聖書館」をオープンしました。
※P5に詳細を掲載



10月

第63回「聖書和訳頌徳碑記念式典」

10月3日



美浜町関係者及び聖書協会関係者と地域の教会の方々、約 80 名参加。昼食後、小野浦館にて「廻船と音吉記念館」館長の樋口浩久氏が、音吉と樋口家の関係と伝承についての講演を行いました。



10月

UBS・フェローシップイベント

10月7-11日

カナダのトロントで行われたUBSのフェローシップイベントに具志堅総主事と広報部・ペランド主事補が参加しました。

※P4に詳細を掲載



10月

東京基督教大学シオン祭ブース出展

10月14日

東京基督教大学の文化祭であるシオン祭にブース出展しました。



12月

聖書協会クリスマス礼拝 聖書事業功労者賞

12月6日



日本基督教団銀座教会でクリスマス礼拝が行われました。聖書事業功労者賞はブックデザイナーのロゴス・デザイン 長尾優様に贈られました。



私は、あなたを畏れるすべての人
あなたの諭しを守る人たちの友です。
主よ、この地はあなたの慈しみに満ちています。
あなたの掟を私に教えてください。

詩編 119編 63-64節



写真：Susan Ndiangui/Joy Balusi
聖書協会世界連盟ウェブサイトより

総務部

Administration

庶務・経理・人事・建物など総務全般の業務と聖書協会の理事会、評議員会関連の諸会議の準備・開催を担当、関係諸官庁への報告・連絡等を行っています。

1. 理事会 (計4回開催)

2023年12月6日 (第1回)、2024年4月5日 (第2回)、
2024年6月7日 (第3回)、2024年8月30日 (第4回)

2. 評議員会

2023年12月21日 (第1回)

3. 評議員事業報告会

2024年6月7日

4. 財政委員会

2023年12月4日、2024年6月7日

5. 企画会議

2024年4月5日 (第2回理事会で実施)
2024年8月30日 (第4回理事会で実施)

6. 理事会三役会

2023年12月4日、2024年4月2日、6月3日、8月29日

7. 会計監査 (税理士法人シリウス長岡事務所により6回実施)

2023年12月1日*、2024年1月26日、4月1日、
5月27日*、7月26日、10月25日 *印は、監事立会い

8. 臨時理事会評議員会

2024年4月17日

9. 不動産管理

1) 賃貸状況

聖書館：株式会社アシックスジャパン他 (計13社賃貸)
堂島TSSビル：オーテックス株式会社他 (計2社賃貸)
アバコビル：(株) 東京コンサーツ他 (計9社賃貸)

2) ビル運営委員会

教文館、日本聖書協会、教文館管財の3社で教文館・聖書館ビル管理について協議

3) 堂島TSSビル運営委員会

東洋紡不動産、三省堂、日本聖書協会3社の共同ビルとして運営

編集部

Editorial

『聖書 新共同訳』『聖書 聖書協会共同訳』を中心に聖書本文と著作権の管理、聖書関連書籍の制作、ウェブバイブルの管理を行っています。また、広報部や頒布部によるPRイベントの企画に協力しています。

1. 「聖書協会共同訳」事業

「聖書協会共同訳」事業の委員を務めた11名から成る聖書協会共同訳諮問委員会が、第7回を2024年3月25日、第8回を8月19日に開催しました。同じ日の午前に第5回、第6回の日本聖書翻訳研究会が開催されました。広報部の「聖書協会共同訳」PR動画やイベントの企画、制作に協力。今年度は2023年11月に盛岡と渋谷、2024年6月に熊本で開催された聖書協会共同訳セミナー、また2024年4月に三崎町教会、7月に武蔵豊岡教会、9月に東所沢教会で開催された研修会の企画と進行を行いました。また、翻訳事業関係者へのインタビュー動画のYouTube配信は2020年度から継続しています。

2. 制作関連

2020年1月末に提供を開始したウェブバイブルは、引き続き、問い合わせ対応、メンテナンス等を随時行っています。制作物としては、2024年9月に『わたしの聖書物語』、10月に『366日で読む聖書』の翻訳出版をしました。日本聖書翻訳研究会の機関誌『New 聖書翻訳』第9号を2024年3月に発行しました。

3. 聖書図書館 (2017年6月末より閉館中)

1) 蔵書

聖書の内訳

言語数	聖書	旧/続/新	分冊	選集	合計
535	1,150	1,589	2,393	255	5,387

2) 聖書に関する問い合わせ

142件

3) その他

2023年10月、青山学院と正式に、聖書図書館 (2017年閉館) 所蔵聖書の寄託契約が結ばれました。日本語と漢語の聖書および原語聖書を除いた外国語聖書が現在、青山学院大学の新図書館 (マクレイ記念館) のシャローム・ライブラリーに配架されています。日本聖書協会の過去の資料、とりわけ聖書翻訳資料、AVACOの歴史資料の保存・整理を進めています。

4. 著作権関連と旧聖書図書館関連業務、その他

1) 著作権使用許諾

許諾書 新共同訳：38件 聖書協会共同訳：9件

2) 本文管理

訂正確認指示 新共同訳：0件 聖書協会共同訳：4件

出版部 Production

さまざまな需要に応じて複数の日本語訳聖書の製作を行うとともに、新たな分野の出版企画・開発にも取り組んでいます。

1. 製作概況

2024年度の聖書、旧約、新約の製作数の詳細は、P19をご覧ください。

1) 新刊

2024年度は廉価な文庫サイズの小型並装新約聖書(SI240)、そのカバージャケットを省いて簡易装丁版とした伝道用「レインボウセット」(SI240-S/30冊セット)、また聖書協会共同訳と英語訳(English Standard Version)を並行に掲載した『バイリンガルバイブル』和英対照聖書(SIESV54DI)、同じく和英対照新約聖書(SIESV253DI)の計4点を発行し、聖書協会共同訳のラインナップ拡充に努めました。「アート聖書カレンダー2025」、一枚ものの「JBSホームカレンダー2025」2種など、用品も例年通りに製作いたしました。

2025年度は聖書事業150年記念の出版として、四つの

邦訳詩篇(詩編)を見開きに掲載した『旧約聖書 詩篇 四訳対照』の他、聖書協会共同訳中型判の革表紙を折革手製本で復刻させること他を計画しています。

2) 重刷

キリスト教学校の主力採用品である新共同訳の小型聖書(NI44)から、聖書協会共同訳の小型聖書(SI44)への移行が徐々に進んでいます。2019年度の聖書協会共同訳の発行以来、新共同訳、口語、文語も含めた四訳を並行して製作しているため、少量多品種へ重刷が分散する傾向が進みました。本文用紙、表紙材など製品資材原価や輸送費の上昇、銘柄廃止などが続いており、製品原価を押し上げる製作環境が続いています。そのため従来訳の製品ラインナップ縮小を進めながら、聖書協会共同訳の製品拡充を行っています。重刷の間隔を広げることや資材共通化など合理化を図りつつ業務を推進しています。

頒布部 Distribution

取次、一般書店、キリスト教専門書店、直営書店、インターネット通販より、全国のお客様へ聖書をお届けしています。

1. 配送センター

聖書は製作後、埼玉県にある配送センターに保管し、ご注文に応じてピッキング→チェック(検品)→梱包→出荷の作業を経て各取次会社、一般書店、キリスト教専門書店、直営書店へと発送します。

聖書を気持ちよく手に取っていただくため、常に丁寧な作業を心がけ、「聖書を一人でも多くの方に」をモットーに日々努めています。



2. 一般頒布

1) 「聖書協会共同訳」頒布

現在100を超える教会で『聖書協会共同訳』を使用頂けるようになりました。学校教科書としての使用も少しずつ増えてきており、青山学院、立教大学、東北学院、関西学院などがこちらの聖書訳に切り替えました。

2023年6月にオランダより講壇用聖書が到着しました。頒布数は順調に伸びています。講壇用聖書の販促活動を通じて、聖書協会共同訳を採用する教会、ミッションスクールが更に増えることを期待しております。



2) 多様化する頒布形態

出版業界は厳しい状況が続いておりますが、Amazon、バイブルハウス南青山のようなオンライン由来の聖書頒布数は増えています。従来の書店営業は継続しつつ、オンライン販売を今後は強化していきます。

3. 新刊頒布

2024年度に頒布した新刊に関してはP15を参照ください。

4. 広報宣伝活動

1) ウェブサイト

JBSウェブサイトは2021年にリニューアルされ、頒布部が管理する「聖書のお求め」ページは利便性が格段にアップしました。新設された「聖書の選び方ガイド」では、聖書翻訳の違い、サイズや出版形態のバリエーションなどが大変分かりやすく説明されています。今後も定期的に情報をアップデートし、お客様がより使いやすい環境を目指します。

2) SNS

書店数が年々減少する中、SNS(Facebook、X(旧:Twitter)、Instagram)を通じた広報・販促活動の重要性は今後更に増していきます。新刊、既刊の自社商品、またキャンペーン企画などを定期的にSNSに投稿し、聖書頒布に繋げていきます。

2024年度新刊製作一覧

(聖書紙版4点、書籍3点、用品3点、合計8点)

聖書 (紙版)

- ◎聖書 聖書協会共同訳 中型和英対照 バイリンガルバイブル (SIESV54DI) 7,000円
- ◎新約聖書 聖書協会共同訳 中型和英対照 バイリンガルバイブル (SIESV253DI) 2,700円
- ◎新約聖書 聖書協会共同訳 小型並装 (SI240) 500円
- ◎新約聖書 聖書協会共同訳 小型簡易装 伝道用レインボウセット (SI240-S) 30冊入 5,000円 1,100セット



バイリンガルバイブル
和英対照聖書



バイリンガルバイブル
和英対照新約聖書



新約聖書
聖書協会共同訳 小型



聖書協会共同訳 新約聖書
レインボウセット

書籍 (紙版)

- ◎わたしの聖書物語 神さまの大いなる計画 3,600円
- ◎日々の黙想 366日で読む聖書 2,400円
- ◎NEW 聖書翻訳No.9 1,400円



わたしの聖書物語
神さまの大いなる計画



日々の黙想
366日で読む聖書



New 聖書翻訳 No.9

用品

- ◎JBS ホームカレンダー 2025 「子どもたちを我に来させよ」20枚セット 3,200円
- ◎JBS ホームカレンダー 2025 「湖上のペトロ」20枚セット 3,200円
- ◎アート 聖書カレンダー 2025 800円



「子どもたちを我に来させよ」



「湖上のペトロ」



アート聖書カレンダー 2025



JBS ホームカレンダー 2025

※価格表示はすべて本体価格です。

直営店・店舗情報



バイブルハウス南青山 ※通販専門

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-28 AVACOビル2F
TEL: 03-3203-4137
FAX: 03-3203-4186
E-mail: biblehouse@bible.or.jp
営業時間: 平日 月～金曜日 10時～16時



オンラインショップURL
<https://biblehouse.jp/>

店長より ひとこと

オンライン専門店として、教会や学校、幼稚園、保育園等の皆様に聖書や讃美歌をはじめとするキリスト教関連商品をお届けしております。2024年は新たな試みとして、オリジナル聖書カバーを製作し、販売に取り組みました。今後も新たな商品仕入れ・商品開発、オリジナルカタログ(春夏・クリスマス)、オンライン店の特集ページなどを通じ、当店での買い物を楽しんでいただけるよう心がけます。



キリスト教書店ハレルヤ

〒862-0971
熊本県熊本市中央区大江4-20-23
TEL/FAX: 096-372-3503
E-mail: k-haleruya@bible.or.jp
営業時間: 平日 月～土曜日 10時～18時

店長より ひとこと

熊本・大分・長崎・佐賀・北九州・鹿児島地区と九州の広い地区を担当しています。お店は、嶋津(店長)、山本、松永の3人で担当しています。最近福岡からもお客様が足を運んでくださいます。「やはり書店に来て、実際に商品が見られるとありがたいね」と言われます。キリスト教書店を維持するのは大変ですが、使命感を持って取り組んでいきます。



京都ヨルダン社

〒602-0854
京都市上京区荒神口通河原町東入
TEL: 075-211-6675
FAX: 075-211-2834
E-mail: ktjordan@mbox.kyoto-inet.or.jp
営業時間: 平日 月～土曜日 10時～18時



店舗URL
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/ktjordan/>

店長より ひとこと

2023年4月よりびぶるすの森(大阪府堺市)のお客様を引き継ぎ、それまでの京都・滋賀エリアに加え、大阪・奈良・和歌山にも営業エリアが広がりました。関わる全ての人々に支えられながら、文書伝道に励んでいます。

広報部

Public Relations

イベント開催や広報誌の発行、ウェブサイト、動画配信、ソーシャルネットワーキングサービスなど、種々の方法を通して、聖書普及の広報活動を行っています。

1. 広報催事

◎ 聖書協会共同訳セミナー・盛岡 2023年11月3日

会場: 日本基督教団下ノ橋教会

講演: 「明日に向かって種を蒔こう」 講師: 小友聡氏

参加者約50名

◎ 「いのりフェスティバル仙台」ブース出展

2023年11月4日

会場: 日本基督教団東北教区センターエマオ

◎ 「uniTed 2023」ブース出展 2023年11月18日

会場: 東京基督教大学(千葉県印西市)

◎ 聖書協会共同訳セミナー・渋谷 2023年11月25日

会場: 日本基督教団聖ヶ丘教会

講演①: 「詩文学を読み味わう」 講師: 小友聡氏

講演②: 「詩編は心の泉」 講師: 春日いづみ氏

参加者約90名

◎ * 第2回聖書エッセイコンテスト・授賞式&特別対談

2024年1月27日

「だからバイブルが好き」をテーマにオリジナルの聖書エッセイを応募。合計58作品の内10作品をノミネートし、日本基督教団銀座教会で授賞式を開催しました。当日は特別ゲストとして、選評委員の林あまり氏、清涼院流水氏をお迎えし、特別対談「聖書の魅力について考える」を行いました。

◎ * 聖書協会共同訳セミナー・熊本 2024年6月23日

会場: 日本基督教団熊本草葉町教会

講演: 「聖書を耕したのちに -ひらかれる新しい景色-

講師: 石川立氏 参加者約55名

◎*第63回聖書和訳頌徳碑記念式典(日本聖書協会主催)

2023年10月3日

会場：三吉前広場(愛知県美浜町)

美浜町関係者及び協会関係者約80名参加

昼食後、小野浦館にて「樋口家と山本音吉」をテーマに廻船と音吉記念館館長樋口浩久氏の講演が行われました。

◎*東京基督教大学学祭「シオン祭」ブース出展

2024年10月14日

会場：東京基督教大学(千葉県印西市)

◎伝道団体連絡協議会 秋のフェスティバル パネルディスカッション登壇 2024年10月14日

会場：お茶の水クリスチャンセンター 8階チャペル

テーマ：これで教会はどう変わる?~新しい時代をつくるデジタル宣教~「デジタル時代の宣教」

◎第1回シグニス動画フェスティバル(シグニスジャパンカトリックメディア協議会主催に協賛)

作品募集期間：2024年4月~10月末 応募数：21作品

*P10-11 Topics 2024に紹介と写真有。

2. 発行物

◎聖書愛読こよみ2024

(10,000部/2023年11月)

◎日本聖書協会年報「JBS」2023年度 Vol.124

(12,500部/2024年4月)

◎「SOWER=種まく人」52号

(13,000部/2024年4月)

◎「開こう、聖書」チラシ(11,000部/2024年4月)

◎「聖書の読み方ガイドマップ」チラシ

(33,000部/2024年7月、レインボウセットSI新約聖書30冊に同包)

3. インターネット関連

◎公式ウェブサイト <https://www.bible.or.jp/>

「日本聖書協会150年に向けて」ページ公開 2024年1月

◎X(旧Twitter) 公式アカウント

<https://x.com/JBSbible>

「今日の聖句」の抜粋投稿および、公式の告知を投稿

◎Facebook 公式アカウント

<https://www.facebook.com/JBSBible>

製品およびイベント情報などを投稿

◎日本聖書協会YouTubeチャンネル

<https://bit.ly/3puv62F>

リモートインタビュー、聖書セミナー講演動画、聖書動画コンテスト入賞作品、聖書エッセイコンテスト特別対談、製品紹介など各種動画を随時公開

◎「バーチャル聖書館」開館 2024年9月2日

メタバース空間に聖書協会の働きを紹介

4. 聖書全巻リレー通読実施教会・団体へ認定書贈呈(2教会)

◎日本基督教団沼津教会

2024年3月24日~30日 18回目 参加者：56名

◎日本基督教団横浜指路教会

2024年8月27日~9月13日 参加者：132名

◎2024年度 個人通読完了者86名

5. 150年記念プロジェクト

◎記念グッズ制作

トートバッグ、150年ロゴ入りうまい棒、150年ロゴ入りビスコ

◎150年記念 職員向けツアー開催

築地居留地ツアー 3/6、10/28 ガイド：中島耕二氏

横浜居留地ツアー 3/7、10/29 ガイド：中島耕二氏

募金部

Fundraising

公益法人としての財政的基盤を強化するため、DM、教会訪問、イベント、入会キャンペーンの実施などを通して、後援会への入会の呼びかけと募金活動を行っています。

通常の会費および寄付金の他に、一昨年から継続している「ウクライナ聖書支援献金」、新たに「能登半島地震教会支援献金」を受け付けております。いつも祝福と愛をお分けくださる皆様に感謝申し上げます。

1. 募金状況

(単位：円)

	2023年度決算	2024年度決算
会費収入	5,910,000	5,000,000
寄付金収入	23,732,158	21,683,045
合計	29,642,158	26,683,045

2. 会員状況

(単位：人)

1) 後援会員

	2023年度末	2024年度末
1千円会員	927	922
3千円会員	426	417
5千円会員	706	681
1万円会員	395	382
5万円会員	13	11
生涯後援会員	29	28
会員総数	2,496	2,441

2) 手話訳聖書製作支援パートナー (年会費1口=10,000円)

	2023年度末	2024年度末
教会・団体	59	59
個人	17	25
合計	76	84

3. 聖日礼拝 教会訪問

2023年11月～2024年10月の間に、全部署の職員で手分けして18教会を訪問しました。

4. 後援会ニュースレター「からし種」発行

- ◎2023年12月：冬 第80号 発行
- ◎2024年3月：春 第81号 発行
- ◎2024年6月：夏 第82号 発行
- ◎2024年10月：秋 第83号 発行



5. 聖書支援報告

1) 海外聖書支援

聖書協会世界連盟を通じ、総額15,510,972円の支援を行いました。詳しくはP7「海外聖書支援」をご覧ください。

2) 手話訳聖書製作支援

手話訳聖書の翻訳・製作を行っている「一般社団法人 日本ろう福音協会」に、2,572,526円を助成しました。

3) 点字聖書製作

2024年度は点字聖書製作のために1,418,463円のご献金をいただき、合計508冊の点字聖書を製作しました。

2024年度 点字聖書 製作数

訳	冊数
聖書協会共同訳	255
新共同訳	243
口語訳	10
計	508

点字聖書製作費 826,378円

4) その他支援

- ◎一般社団法人 クリスチャンセンター 神戸バイブル・ハウスに130,456円を助成しました。
 - ◎希望のあった刑務所やホームレス支援施設に、若干数の聖書を贈呈しました。
- ※募金報告の詳細は巻末の献金者芳名1ページにも記載しています。

視聴覚部

Audio Visual

AVACOという名前で親しまれている視聴覚部は、キリスト教幼児教育を基盤とした教材製作と頒布、講習会開催などを行っています。

1. 教材製作と頒布

◎2024年度聖句カード

450,000部製作 (45種×各10,000部)

※2024年度で66年目を数える聖句カード、子どもたちが初めて出会う御言葉としての役割を担っています。



2024年度カード

◎行事カード 54,000部製作 (6種×各9,000部)



行事カード (2025年度お誕生日カード)



行事カード (イースター)



行事カード (クリスマス)

◎グリーティングカードセット 3,200部製作 (3種)



グリーティングカードセット (クリスマス)

2. 教材の貸出

現在は販売していない紙芝居などを中心に貸出。

旧法人時代の1951年からスタートした貸出業務は、視聴覚部の聖書館ビルへの移動と利用者の減少に伴い7月末で終了しました。

ご利用件数 / 31件

3. 他団体への協力

名刺作成協力 / 東京コンサーツ 1件、東京混声合唱団 4件

2024年度 聖書各種データ

■ 2024年度 製作及び輸入部数 (2023年11月～2024年10月)

翻訳・言語	聖書	旧約	新約	分冊	点字	録音	選集*	その他**	合計
聖書協会共同訳	19,510	0	49,623	0	255	0	952,500	6,390	1,028,278
新共同訳	48,732	45	77,566	0	243	0	5,067	10	131,663
口語訳	6,020	0	0	0	10	0	0	0	6,030
文語訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	74,262	45	127,189	0	508	0	957,567	6,400	1,165,971
外国語	2,476	37	57	0	0	0	0	0	2,570
合計	76,738	82	127,246	0	508	0	957,567	6,400	1,168,541

*含マンガ聖書、聖書絵本シリーズ、黙想シリーズ、カレンダー各種、しおり選集

**含わたしの聖書物語、NEW聖書翻訳、さいしよのクリスマスのおはなし、A4署名簿

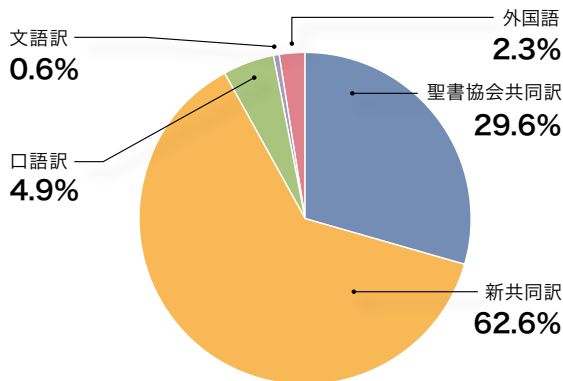
■ 2024年度 翻訳・言語別頒布表 (2023年11月～2024年10月)

翻訳・言語	聖書	旧約	新約	分冊	点字	録音	選集	その他	合計
聖書協会共同訳	23,791	0	11,157	0	350	546	841,461*	3,223	880,528
新共同訳	50,360	141	84,905	569	50	-90	11,682	5,877	153,494
口語訳	3,951	0	1,221	0	42	0	0	0	5,214
文語訳	485	0	142	0	0	0	0	0	627
小計	78,587	141	97,425	569	442	456	853,143	9,100	1,039,863
外国語	1,860	27	140	0	0	0	0	9	2,036
合計	80,447	168	97,565	569	442	456	853,143	9,109	1,041,899

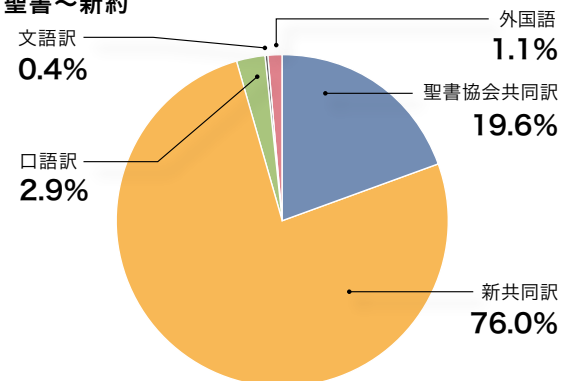
*聖書協会共同訳/選集: 葉78万枚含む

■ 翻訳・言語別頒布比較

聖書



聖書～新約



■ 世界の聖書頒布状況

※旧新約合本

聖書	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
アフリカ	7,000,000	5,900,000	7,900,000	8,800,000	5,900,000
アメリカ	19,000,000	12,800,000	14,300,000	14,700,000	8,800,000
アジア太平洋	10,800,000	7,010,000	8,300,000	8,720,000	8,340,000
ヨーロッパ	3,400,000	5,100,000	2,000,000	3,300,000	1,300,000
総計	40,200,000	30,810,000	32,600,000	35,520,000	24,340,000
日本聖書協会	104,377	85,201	92,046	87,926	81,478

出典: UBS Global Distribution Summary

日本聖書協会 役員・事務局

2025年1月14日現在

理事会（総勢11名）

理事長	石田 学	
副理事長	菊地 功	
書記	風間 義信	
書記	小海 光	
	吉田 眞	広田 勝一
	畑野 順一	真壁 巖
	三好 明	立野 康博
	渡辺 佳哉	

評議員会（総勢9名）

ジャンセン ウェイン	滝田 浩之
安倍 愛子	木村 一充
加藤 望	本田 愛子
川口 薫	中島 啓一
細井 眞	

監事（総勢2名）

大野 克美	奥山 盾夫
-------	-------

事務局（総勢33名）

総主事 具志堅 聖

総務部

主事	中野 誠
庶務・建物係	主事補 池田 克久
	松山 和男
会計係	秋田 博美*
	藤田 一志
	松山 麻三子
アバコ建物係	主任 菊池 義弘

出版部

主事補	柳澤 眞
製作係	主任 黒澤 多佳子
	永野 新弥
	桑島 大志

編集部

主任	飯島 克彦
主任	海保 千暁
	山本 真里江
	廣井 久仁子

頒布部

主事補	渡辺 愛雄
営業係	工藤 樹
事務管理	主任 齋藤 知恵
	主任 長尾 眞
	主任 野中 陽子

配送センター

	熊本 智春
	安川 尋美
	岡田 幸男
	川崎 歩
直営書店担当	主任 加藤 久絵
	葛生 真帆
デザイン担当	春木 英司

直営書店（管理：頒布部）

バイブルハウス 南青山	店長・主任	加藤 久絵
キリスト教書店 ハレルヤ	店長	嶋津 秀成*
京都ヨルダン社	店長	田中 宗一*

広報部

主事補	ベランド エミ
	主任 加藤 太郎
	主任 高橋 章子

募金部

主事	中村 真之介
	主事補 森脇 百合

視聴覚部

主任	吉崎 礼子
----	-------

(※) 契約職員

聖書をお届けする
ひろくあまねく
それが私たちの仕事です

ミッション

私たちは、聖書協会世界連盟（UBS）の一員として、200以上の国や地域において活動している各地の聖書協会と相互に協力し合いながら、聖書翻訳、出版、頒布、支援を主な活動として全世界の聖書普及に努めています。

聖書の翻訳・出版・頒布

時代や教会の要請に応じて、聖書の原典に忠実に、その目的に従って日本語に翻訳しています。現在、文語訳、口語訳、新共同訳、聖書協会共同訳の4つの翻訳聖書を発行し、書籍を中心として、点字、手話、音声、電子などといった様々な聖書の出版、頒布に努めています。

JBS

日本聖書協会150年

日本聖書協会（JBS）の働きは、スコットランド聖書協会が横浜に日本支社として北英国聖書会社を設置した1875（明治8）年に遡ります。続く1876年に米国聖書協会、英国聖書協会が日本支社を設立することにより、現在の日本聖書協会の基礎が築かれました。2025年には1875年の日本における聖書普及事業の開始から150年を迎えます。



黙想シリーズ **NEW**
●合成皮革装 ●スリーブケース入り



デポーショナルブックシリーズ全6巻
聖書を読み、祈ることを通じて神と時間を過ごす。
豊かな恵みへの第一歩。



オーディオ版 聖書 聖書協会共同訳
Amazon Audible 配信中

- クオリティの高い朗読
- 全文収録
- 多様なフォーマット
- 美しい日本語

オーディブル 聖書協会共同訳 検索
詳細は Amazon サイトでご確認ください。



**聖書協会共同訳 × English Standard Version
バイリンガルバイブル**

聖書を和英対照で読み味わうことができます。
日本語は、2018年12月発行のカトリック教会とプロテスタント諸教会の翻訳者による最新の共同訳『聖書 聖書協会共同訳』。英語は、ジェームズ王欽定訳の流れを汲み、現在アメリカで最も読まれている『英語標準訳』(English Standard Version)。



B6判 中型聖書
文字の大きさ
8.5ポイント



和英対照新約聖書 和英対照聖書





Apr.2025 Vol.125

発行 ● 一般財団法人 日本聖書協会

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5番1号 聖書館ビル

電話 03-3567-1990

振替 00160-2-18410

一般財団法人 日本聖書協会ホームページ

<https://www.bible.or.jp/>



デザイン ● コアプランニング株式会社

印刷 ● 株式会社 高速オフセット